

# 007 「赤い刺青の男」 記念館

## ジェームズ・ボンドが



## 直島で活躍！！



007の小説版『赤い刺青の男』の中で  
日本各地が舞台となり、直島もG8会場  
との設定で実名で登場しました。

直島町ではこのことを記念し、小説を基

に映画化を実現し直島ロケに結びつけようと、香川県や町内外の協力を得て

小説『赤い刺青の男』を紹介する記念館を設営し、情報発信しています。



### Q1. なぜ直島が舞台に？

国際観光振興機構(JNTO)シカゴ事務所の所長(当時)塚本恭丈氏の紹介。

直島は、1992年にホテルを備えた現代アート美術館ベネッセハウスができてから、国内より先に海外から評価を受け同館に訪れる観光者は国内外から年々増加し続けている。また、瀬戸内海は鎖国時代から既にその美しさは西洋に知られていて、海外では日本有数の観光地と紹介されている。

2002年に取材に来日した作者ベンスン氏の目に、自然と芸術が融合した直島がG8開催地になる保養地として打ってつけだと映ったに相違ない。

### Q1. どういうストーリー？

遺伝子操作で殺傷力のあるウイルスに感染させた蚊を使ったG8要人暗殺テロをボンドが阻止する。

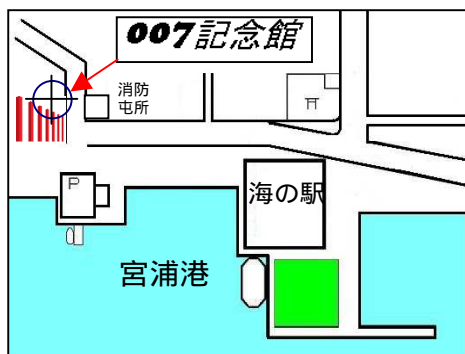
黒幕は前作“Never Dream of Dying”で、国際テロ組織に資金援助している存在が明らかになった、日本人テロリストの“闇将軍”こと吉田吾郎。来日したボンドは『007は二度死ぬ』で協力した公安調査庁のタイガー田中(劇場版『007は二度死ぬ』では故丹波哲郎が演じた)と再会、再び共同作戦で事件を追う。

### Q1. 記念館の展示物は？

作中、殺し屋の“河童”がG8会場であるベネッセハウスの美術館に潜入するため中に隠れた架空のアート作品『傷心』という等身大の心臓のオブジェを実際に制作、展示。

ボンドが“河童”にパンチを食わせる構図の顔出しボードで記念撮影できる。

その他、これまでの小説、映画に関連したグッズやパネル、ポスターの展示と、自主制作した『赤い刺青の男』の動く紙芝居(DVD)約30分のリピート上映などを実施。



場所: 宮浦港[海の駅なおしま]から徒歩2分

海の駅から北へ。角の消防屯所(白い建物)の斜向かい、赤色の7本の柱が目印。

開館時間: 9:00~17:00(入場無料)